

令和6年度施設関係者評価報告書

学校法人 勅使河原学園
幼保連携型認定こども園 勅使河原学園
園長 勅使河原 由生妃

学校法人勅使河原学園は、教育・保育目標や計画等をはじめとする園運営について自己点検・自己評価を実施するとともに、12月に行いました保護者アンケート結果をもとに「令和6年度施設関係者評価報告書」を作成し、当園ホームページに公表いたしました。また、施設関係者評価委員会を設置し、ご意見ご指導を賜りました。頂戴したご意見につきましては「令和6年度施設関係者評価報告書」としてご報告させていただきます。今後は頂きましたご意見等をさらなる保育・教育に生かし、さらに認定こども園勅使河原学園が向上していけるよう職員一同努力いたします。関係者の皆様には、今後とも尚一層のご支援・ご指導を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

1.園の教育・保育目標

幼児には360度の可能性があります。その可能性の芽を摘み取ることなく、どんどん引き出していくことが当園の教育目標です。外交的で元気な子供、内気で物静かな子供、引っ込み思案な子供、いろいろな性格の子供たちがいます。ナマコにグロテスクだね、サザエに真っすぐ生きる！と言っても無理なように、個性は個性として大切に、それを変えること無く、一人一人が自分を認め、光り輝くことのできる教育を目指しています。「直すより生かす！」ことが大切と考えます。また、すべての諸活動を「遊び」ととらえ、遊びの中で楽しんで、喜びながら身に付き消化していけるように、知・情・意のバランスをとることを目指していきます。そして、保育に関しては、保育者が看取る保育ではなく、関与しすぎる保育ではない、心の成長を図る、積極的に関わる保育を目指します。

2.重点目標

- ・子どもが自分の五感と運動を総動員しながら、自発的・能動的に環境にはたらきかけ、探求・発見・作り変え・組み換えのような意欲的な操作活動をうながす。
- ・子供たちの教育・保育環境の整備
- ・保護者や地域環境と園が互いに連携し、子供たちの教育・保育を行う
- ・保育教諭の資質及び専門性の向上

3.評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み内容	自己評価	評価
保育の計画性	<ul style="list-style-type: none">・ 園の教育目標の設定・ 月次指導計画作成・ 教諭間の協力的指導状況・ クラス運営の成果と課題	園の目標を全職員で共有し、月次指導計画を作成し実施していくため、計画的に進められている。各クラスの状況を教員間で共有し、成果と課題を明確に各教諭が把握できている。	A
研修と研究	<ul style="list-style-type: none">・ 研修・研究への意欲・態度・ 保育者としての専門性に関する研修・研究・ 今日的課題に関する研修・研究	研修で学習した内容を保育・教育で実践できた。 研修報告書の作成・園内の研修会などにより、研修内容を職員間で共有することができた。 リモートによる研修にも参加した。	A

教育環境整備	<ul style="list-style-type: none"> 施設整備の安全性、維持管理のための整備 遊具・用具・図書の整備 	<p>園舎施設点検を職員が月次で実施 遊具点検を職員が週一回、専門業者による遊具点検を年二回実施 地域図書館から図書の借入</p>	A
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練の実施 バスのドライブレコーダーの設置 AEDの使用研修 職員の安全対応能力の向上 	<p>火災・地震を想定した月1回の防災訓練の実施 バスの安全運行促進のためドライブレコーダーの設置 AEDの職員研修と整備に伴う消耗品の交換 サスマタの職員研修</p>	A
保健管理	<ul style="list-style-type: none"> 家庭・医療機関等の連携 日常の健康観察・疾病予防 健康診断 職員の健康管理 	<p>提携薬剤師による園内の学校環境衛生検査を定期的に行い園内の衛生管理を図った。 全園児の内科検診・歯科検診を定期的な実施 園内感染状況の保護者へのメール配信。職員の健康診断の実施及びインフルエンザ予防接種の推奨・補助</p>	A
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> 子育て情報の発信 未就園児の親子登園の実施 未就園児の預かり保育の実施 	<p>授業参観・懇談会の実施 未就園児親子を対象に「ひよこクラブ」の継続実施 未就園児の預かり保育の実施</p>	B
食育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 園児参加によるカレー大会の実施 餅つき大会の実施 給食の展示 給食の完全内製化 給食材料の地産地消 月に一度の行事食の実施 	<p>年長園児が調理に参加しカレーライスを作る「カレー大会」を行い給食への興味を高めた。全園児参加による「餅つき大会」の実施による伝統行事への参加。 給食の完全内製化による、毎日の給食展示、食材の地元生産者からの直接仕入による地産地消の実施し、給食への関心を高めた。 月一回の行事食実施により料理によって園児に季節感を感じてもらった。</p>	A

評価項目	取り組み内容	自己評価	評価
子どもの感性を伸ばす	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学園祭：作品展示 ・ 発表会：自己表現 ・ 人形劇の観劇 ・ リトミックの実施 	<p>学園祭では全園児が自ら制作した作品を展示、家族にも観てもらうことにより作ることへの意欲と関心を高める、また園児による模擬店出店を行いお客様とのコミュニケーションを経験することにより、遊ぶ感覚の中から能力の向上を図る。</p> <p>発表会では、園児による楽器演奏・ダンス・演劇を行い、自己表現を体現する。</p> <p>年一回の全園児で行う人形劇鑑賞により感性を磨くことができた。</p> <p>リトミックを教育カリキュラムの中に組み込み音楽と合わせて動作を行うことにより、園児の能力の向上を図る。</p>	A
地域の自然や社会とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の自然・人々のかかわり ・ 小学校との連携 ・ 子育て支援と地域への開放 	<p>年長園児による合宿、自然とふれあう遠足の実施</p> <p>園小連絡会議・幼保小連絡会議への参加、小学校教諭による園の授業視察</p> <p>夏休み期間中の園舎開放・プール開放の実施</p>	A
保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報の発信 ・ 守秘義務の遵守 ・ 対応上のマナー・心がまえ ・ 要望への対処 	<p>全園児の家庭向けに発信する「園連絡メール」の活用、月次発行の「園だより」の発行、クラスごとに発行する「クラスだより」の発行等により情報の発信</p> <p>全園児の家庭と「個人情報の取り扱いに関する同意書」を取り交わし遵守している</p> <p>保護者一人一人に真摯に対応するための会議の開催</p> <p>保護者の要望を伝えやすい雰囲気づくりの推進</p>	B

4.自己評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

評価	理由
A	園の施設管理・事業計画については、職員の良い連携により、概ね達成されていると考えられる。これからも園児一人一人としっかり関わる保育と個性豊かな人間性を育む教育を目指していきます。今後も研修等による専門知識の向上と、職員同士の質の高いコミュニケーションを通じて地域にとっても良い認定こども園を目指していきます。

◎ 「3、4」 の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

5.今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
子育て支援	地域の未就園児を抱える家庭が安心して預けられる環境作りの推進
保護者との連携	子育てに不安を抱える保護者に寄り添える園であるように、保護者との更なるコミュニケーションの構築を図る

6.施設関係者評価委員会の意見

保護者の皆様にご記入いただいたアンケートの結果はすべての項目において、概ね良好と考えられるが、幼保連携型認定こども園として保護者と地域のニーズにこたえられているのかは、疑問が残ります。保護者の皆様とのコミュニケーションを今以上に重要と捉え、園の運営や子育て支援に活用できるように進んでいただきたいと思います。